



冬の釣りシーズンに向けてワカサギ放流



5月25日に釣り公園でワカサギの稚魚を放流しました。十和田湖から運ばれた約2万匹の稚魚達はシューターを通り、田瀬湖を悠々と泳いで行きました。

田瀬湖では例年11月にワカサギ釣りが解禁されており、放流時には7cm程度のワカサギが、解禁日には12cm～15cmほどまで成長します。参加者は健康に大きく成長することを祈りながら、ワカサギを見送りました。



大雨に備えて訓練を実施



5月27日にダム操作に必要な情報の確認方法や警報操作、ゲート操作など、ダム放流にかかる一連の実践的訓練を行いました。

※緊急放流(異常洪水時防災操作)

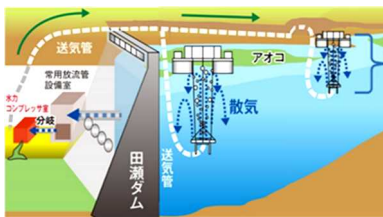
とは計画以上の洪水により、ダム湖に水を貯められなくなり、ダム湖に流れ込んでくる水をそのままダムを通過させ下流に流すことです。ダム湖に流れ込んでくる水量以上を下流に流すことはありません。

6月8日には緊急放流時に実際に使用される緊急放送やサイレンを鳴らし、各警報所の音の聞こえ方を確かめるダム警報訓練を行いました。

ダム放流を行う際は、河川の水位が上昇することを、事前に警報設備やパトロールカーでお知らせしています。警報が聞こえたら、川から離れる及び、川へ近寄らないようにお願いします。



曝気装置を稼働させました



6月1日から水質保全設備(曝気装置)の稼働を開始しました。田瀬ダムでは、平成11年頃から夏期を中心にダム湖に植物プランクトンの異常増殖による「アオコ」が発生するようになりました。

アオコの発生を抑制するために貯水池内に曝気装置を設置し、毎年6月～10月末頃まで稼働させています。

～曝気装置のしくみ～

ダム深層部に設置した曝気装置から圧縮した空気を噴出させ、水温の高い上層部と水温の低い下層部を混ぜることで表面水温が下がります。水温を下げることでアオコの発生を抑制する効果が期待できます。

湖面 安全確認

5月29日に東和B&G海洋センターとオートサービスホットウェーブが共催する、動力付きボート利用者による動力付きボート搬入口の環境整備と湖面の安全確認を行いました。



この日の水上バイク利用者やキャンプ場利用者も飛び入りで参加し、約30名でボート搬入口のゴミ拾いや刈り払いを行いました。

湖面の安全確認では、曝気装置上の旗や普段は進入禁止となっているボート競技場の設備の説明等を受けるなど、利用者相互でルールの確認を行いました。

県高総体 ボート競技

6月5日に東和B&G海洋センターで、岩手県高等学校総合体育大会ボート競技が行われました。

東和B&G海洋センターには日本ボート協会認定のボート競技場が設営されており、今年度は本大会の他に東北総合体育大会や岩手県高校新人大会も行われる予定です。



6月3日の練習風景

ダム 見学会

6月21日に奥州市立玉里小学校4年生の皆さんが田瀬ダム見学に来てくださいました。ものしり館でダムの説明を聞いた後、ダム堤体内に入り、ゲートの開閉設備や放流管などを見学しました。



ものしり館の展示品や監査廊内の設備など、いろいろなものに興味を示していて、楽しそうな様子でダムについて学んでいました。



編集後記

最近朝の通勤時間に管理支所付近でシカをよく見かけます。道路わきに立っていたり、車の前をぴよんと跳ねていたり…(>_<)

かわいいのですがとてもびっくりします。皆さんも、運転中は充分注意してください！（佐）



北上川ダム統合管理事務所
田瀬ダム管理支所

〒 028-0123
岩手県花巻市東和町田瀬39-1-3
TEL 0198-44-5211
FAX 0198-44-5752